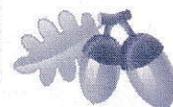


# 若松れんげ自治会

## 地域の話題

### 自治会紹介シリーズ

#### 『若松れんげ自治会』



若松れんげ自治会は、地図上では若沼・若松・小沼の3自治会に囲まれたほぼ真ん中に位置し、校区は若松小学校、世帯数80の若松2丁目にある自治会です。

8月末の残暑厳しい午後、大久保廣幸会長にお話を伺いました。

「昔は、個人宅の車庫で住人同士が一杯やったりして結構賑やかだったんですよ」と懐かしそうに以前の様子などを話してくださいました。

雑木林だったこの地域が40年ほど前に宅地分譲され、それに伴い自治会が発足し、最初は20数軒だけだったそうです。

「当時は緑の多いのどかな地域でした。最初からの住人は現在もほとんどそのまま居られるが、40年以上経ち高齢化が進みとにかく役員決めが大変で、1年交代の自治会長は、次年度の役員がスムーズに決まるかどうか大きな課題なんです」と会長談。以前は自治会に入っていた30戸のアパートの住人のほとんどが、今では脱退されたことも影響しているようです。

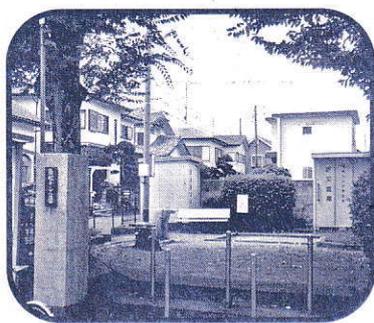
その大久保会長は20年前と今年度とで、自治会長は2回目だそうです。

「とにかく少人数の自治会なので夏祭りもできませんが、4自治会合同（若沼・若松・小沼・若松れんげ）の「どんど焼き」と「防災訓練」だけは毎年どうにか参加しています」とのことです。

また、自治会内には2つの公園があり、月に1〜2回、役員有志で掃除をしているそうです。

取材の最後に「楽しい行事がないと住人はなかなか出てきてくれませんが、その行事をやるうにも、やる人が集まらない」と話す会長ご自身、以前は若松小のグラウンドで少年野球のコーチも引き受けていたそうです。

そんな経験のある大久保会長からは、住人同士の交流活動をやりたくてもままならないなど、柔和な笑顔の中にも様々なご苦労が感じられました。



▲「若松レンゲ公園」

今回は「小沼自治会」の予定です。